

# 東松島市五味倉地区

# 豊作・復興祈願祭を開催

平成24年5月11日(金)、宮城県東松島市大曲地内において、河南矢本土改良区主催による平成24年度作付地域の営農再開「復興・豊作祈願祭」が開催され、東松島市長外、

地元選出議員国・県・市町村・地元関係機関等から約30名が参加しました。この祈願祭は、東松島市内の東日本大震災により津波被害を受けた区域において、復旧が完了し

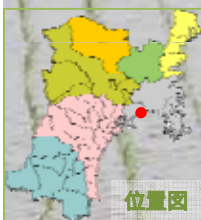
平成24年度に稲の作付けが再開される農地の豊作と農作業の際の事故防止とともに地域の復興を祈願するため開催されたものです。本祈願祭が行われた河南矢本土改良区管内では、東日本大震災による津波で約1,000ヘクタールの農地が被害を受けましたが、農地の除塩や災害復旧工事を行った結果、平成23年度は190ヘクタール、さらに平成24年度は320ヘクタールの農地が営農可能となりました。

祈願を終え、河南矢本土改良区の佐藤勝也理事長は、「田んぼの土が見えることによつて、農家の不安な思いが変わることを期待する」と述べました。また、今回田植え作業を行った、営農を再開した農地の所有者は「田んぼに稲がないと寂しい。皆さんの支援で作付けが出来てうれしい」と語りました。

なお、農地復旧を実施している宮城県東部地方事務所では、平成23年度に引き続き、平成25年度の水稲作付の再開に向けた農地復旧や除塩対策として、当土地改良区管内で約150ヘクタールの工事を実施する計画です。



復興祈願祭の様子



位置図

営農再開農地での田植え作業=5月11日 東松島市



東松島市五味倉地区  
営農再開農地で「復興米」を無事収穫！



営農再開農地での田植え作業＝5月11日



営農再開農地での水稻生育状況＝8月10日



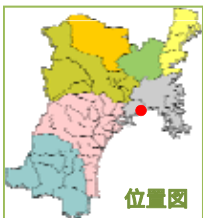
営農再開農地での収穫直前の状況＝9月22日



「復興米」試食提供＝10月23日

平成24年5月11日(金)に宮城県東松島市大曲地区内で開催された平成24年度作付地域の営農再開「復興・豊作祈願祭」が行われた際に作付けを行った水田にて、平成24年9月22日(土)に無事収穫作業が行われました。また、関係土地改良区のご協力を得て、本水田で収穫された「復興米」を使用して、平成24年10月23日(火)に農林水産省「消費者の部屋」において、試食提供を行いました。当日は、郡司農林水産大臣(当時)も「消費者の部屋」訪問され、展示パネル等の見学と「復興米」の試食を召し上がっていただきました。

そして、来場者から「農家の人たちが頑張っている姿に感動しました。」「1日も早い復興心よりお祈り申し上げます。」「などの暖かいメッセージを頂きました。



位置図



宮城県内

宮城県と独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所がパートナーシップ協定を締結

平成24年6月13日(水)、宮城県庁内において宮城県と独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所(以下、農村工学研究所)による、東日本大震災に係る農業

・農村の復旧復興推進のためのパートナーシップ協定の締結式が行われました。  
この協定は、宮城県内の東日本大震災により被災を受けた農地・農業用

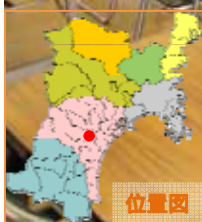
施設等の復旧復興に当たり、技術的な課題への迅速な対応及び今後の防災・減災対応を築くための継続した検討が必要のため、この分野の研究を専門的に行っている農村工学研究所から宮城県が技術支援を受け、県は農村工学研究所への研究フィールドの提供等を行うこととしたもので、お互いの協力体制を明らかにするため、全国初となる協定を結んだものです。

本締結式では、関係者9名の紹介が行われた後、協定書への署名が行われました。署名後、村井嘉浩宮城県知事は「被災農地の復旧復興に向け、ほ場の大区画化等の再編整備を進めるに当たって、地盤沈下や塩害等に対する技術的課題に対して専門的な立場から支援が得られることは、県にとつて大きな推進力となる。感謝します。」と述べました。

また、農村工学研究所の高橋順二所長は「宮城県の大震災からの早期復興に向けて、防災減災の技術開発を行ってきた農村工学研究所の成果を動員し、被害地域の技術的課題に迅速かつ的確に対応し、一日も早い再生・復興の達成のお役に立ちたい。」と語りました。



協定の締結を行う高橋所長(右)と村井知事



位置図

協定締結後に技術支援の一環として開催された、農村工学研究所主催の技術相談会  
=7月11日 石巻市



石巻市  
県営ほ場整備事業大川地区で農地の排水を開始



大川地区現場にて東部地方振興事務所担当者（左から2番目）から説明を受ける村井知事（左）  
=8月3日 石巻市



東部地方振興事務所担当者からの地元関係者への  
工事内容説明

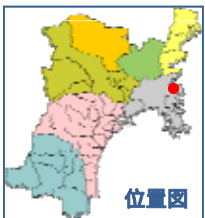


運転を開始した長面排水機場のポンプを  
視察する村井知事（右から2番目）

平成24年8月3日（金）、東日本大震災により全区域において農地が水没するなどの大きな被害を受けた県営ほ場整備事業大川地区の長面工区において、本格的な排水の開始、及び農地復旧状況の確認と地元関係者の意見交換等を目的とした村井嘉浩宮城県知事の現地視察が行われました。

これらは、震災による津波と堤防決壊により224ヘクタールの農地が被災し、未だ大部分の農地が水没している大川地区の長面工区で、平成24年6月11日の堤防の仮締切完了後に整備していた同工区の長面排水機場のポンプ復旧が完了し、8月3日からのポンプ運転に併せて行われたものです。

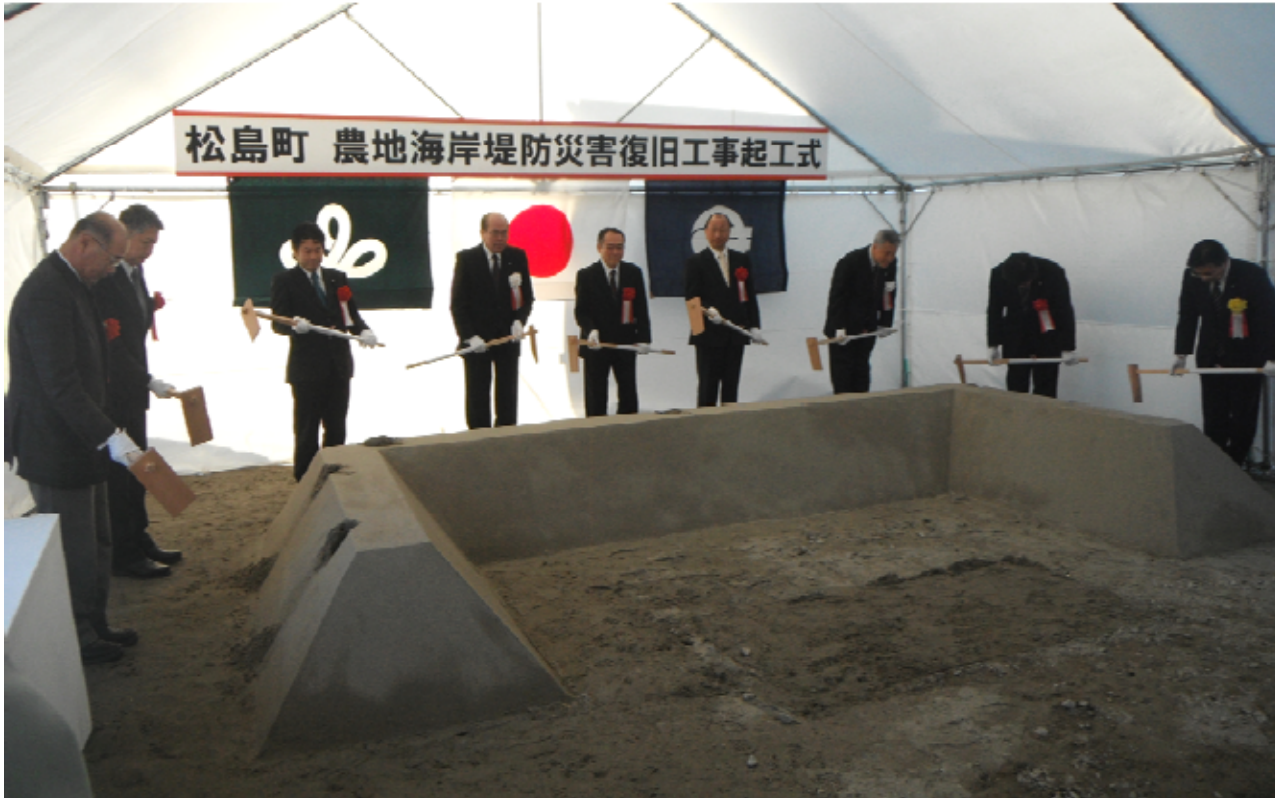
今後の復旧の進め方としては、現在仮締切西側の干陸化した区域から順次ガレキ撤去等を行い、平成25年10月下旬から農地復旧工事を実施し、順次営農を再開する予定です。



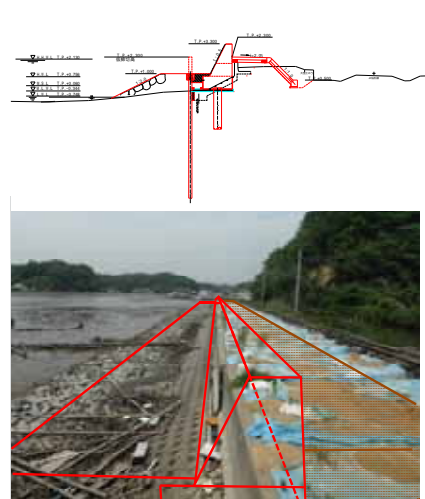


松島町

松島町農地海岸堤防災害復旧工事起工式を開催



松島町農地海岸堤防災害復旧工事起工式での工事起工鍬入れの様子＝11月27日 松島町



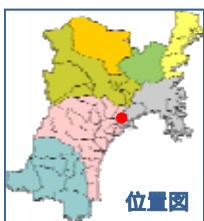
①松島町農地海岸堤防全体計画平面図（小屋崎～手樽），②今回着手箇所標準断面図及び③完成イメージ図

平成24年11月27日（火）に、宮城県は松島町との共催で、東日本大震災で被災した松島町手樽地内の早川東地区において、松島町農地海岸堤防災害復旧工事起工式を開催しました。

起工式は、宮城県若生副知事をはじめ、約50名の来賓、関係者の出席のもと、沿岸地域の日も早い復旧と被災された地域の復興を祈念したものであり、起工式の開催に併せて安全祈願祭も執り行われました。

松島町農地海岸堤防は総延長が約25kmあり、堤防高TP+3.3mで復旧し、平成27年度までに完成させる予定となっています。この堤防の復旧により背後の農地が守られ、営農が可能となります。

また、この堤防の内側には、現在も不通となっている仙石線の線路があることから、平成27年度の仙石線の全線復旧に向けて、線路に沿った約1km部分の完成を目指しています。



位置図

TP = Tokyo Peil 東京湾平均海面



仙台市  
平成24年度産復興米試食会が開催される



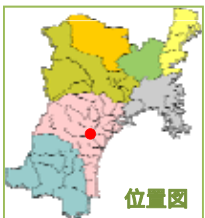
復興米試食会でおにぎりをほおぼる水土里ネットみやぎ伊藤会長（写真奥左）と宮城県村井知事（写真奥右）=11月27日 仙台市



復興米試食会の様子



復興米試食会で提供されたお弁当とおにぎり



位置図

平成24年11月27日（火）、宮城県土地改良会館において、水土里ネットみやぎ主催による「平成24年度産復興米試食会」が開催され、東北農政局長、宮城県知事、県内土地改良区理事長など関係者約50名が参加しました。

この復興米試食会は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県沿岸部の農地の復旧・復興を広くPRしようとして、除塩した田んぼで今年収穫された新米で行ったものです。

試食会では、沿岸部の津波被災から復旧した3つの地域のお米（ひとめぼれ）と内陸部を代表して平成24年夏の異常渇水を乗り越えて収穫されたお米（ササニシキ）が提供されました。

試食した関係者は、「とても美味しいです。津波の被害からここまで復旧・復興し、収穫できた喜びと食べる事ができたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。」と思いを語りました。